

# 江戸と平成、2回もらった景観賞 矢島勝昭

## ●「御嶽坂」

「雪の夜は おもふしもとや 檜箸」（柳径）

積もりゆく夜の雪。細枝（しもと）はその重みに耐えているのであろう。小枝の折れる音は罪人を打つ鞭の音のように寂しいものだ、と詠んでいるのは雑司ヶ谷の名勝を納めた「雑司が谷八境」の「御嶽夜雪」である。

豊島区アメニティ形成賞第一回（平成8年）で受賞した「御嶽坂街路空間」。講評は第一勧銀寮との「接道部の街路空間を非常に開放的にデザインしている。従前にあった閉鎖的な塀が撤去され、この辺りの陰性の雰囲気が陽性に変容した。ただ向い側の雑司ヶ谷霊園の万年塚は景観的にも防災的にも良くないので改良する必要がある。」としている。

指摘された霊園の万年塚もまちづくり協議会の粘りによってようやく改善され、名実共に歴史的、文化的街並形成の完成を見た。

## ▲同所を江戸地誌では次のように云っている。

○「木立ちの紅葉は夕日を止めて、眺める人を酔わせる。御嶽を過ぎて護国寺へ至る道すがらは絶景の一品と見て甚だ良い。」「遊歴雜記」（文政12年・1829）  
○「冬は藏王権現・御嶽の雪、夏は弦巻川の螢は鑑賞に値するものである。」「雑司谷詣」（寛政7年・1795頃）

## ●「千登世橋」

「雑司が谷 目白高田の 若葉かな」（直徳）

千登世橋も第一回で受賞した。講評は橋からの眺めを、「立体交差（目白通りと明治通り）であり、見晴らし台にもなっている。特に学習院の森と足元を走る都電の風景は一幅の絵になり、イメージアビリティの高い原風景である。」と云っている。

## ▲この付近の眺望を地誌では、

○「四家町を通り過ぎて振り替えて見れば、森の

## 建替えを計画中の方はお早めに

不燃化促進事業の助成金が来年度から変更されます。三世代加算がなくなる他、助成金額も少し減額となります。面積によって異なりますが71万円（対象床面積50m<sup>2</sup>の場合）から220万円（対象床面積140m<sup>2</sup>以上）の減少となります。

この変更是平成12年4月1日から施行されます。3月31までに助成対象の確認を受けければ、現行の助成を受けることができます。今、建替えをお考えの方はお早めに計画を進めてください。

中に大行院（法明寺境内）のいらかが見えた。きょう一番の眺望はまさにこれに決まった感がある。」と記している。「嘉陵紀行」（文化文政期・1804～30）

## ●「法明寺境内参道」

「眺望も 寺領も尽かん 花の山」（桃翁）

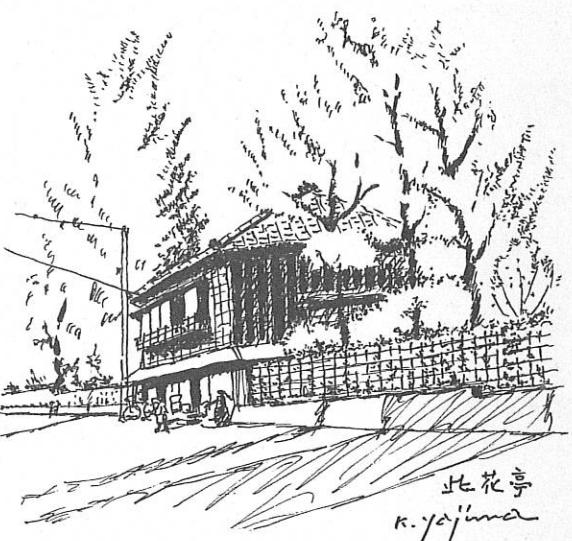
境内一面の満開の桜を詠んだ句で、これも「雑司が谷八境」の中の「威光山花」である。

法明寺境内参道は第二回の受賞である。講評では「参道の両側のさくら並木が良い。御影石畳やインターロッキング舗装が周辺と調和しており掃除も行き届いている。」と云っている。

## ▲江戸地誌では

○「法明寺は花の名所でもある。往時は桜の古木が多くたそうだが、いまは見られない。だれもがこれを嘆いていたところ、門前のまつや藤右衛門が桜を植え始めた。」「若葉抄」（文化8年・1811以降）

●江戸の名勝が平成でも賞をもらって、雑司が谷が雑司ヶ谷らしくなった。



●お問い合わせは まちづくり推進課  
防災地区整備係 那須・鈴木まで

電話 3981-1111(内)2862

まちづくりニュース

51 1999・10

## ●企画・発行

雑司が谷地区まちづくり協議会

財団法人 豊島区街づくり公社

3981-1111(内)2883/房野・北島・上野

豊島区都市整備部まちづくり推進課

3981-1111(内)2862/鈴木・那須・西口

## ●編集協力

株式会社 エコライン

5706-6031/小野

豊島区広報印刷物 H20-11-126

ぞうしがや



防災生活圏促進事業の事業区域

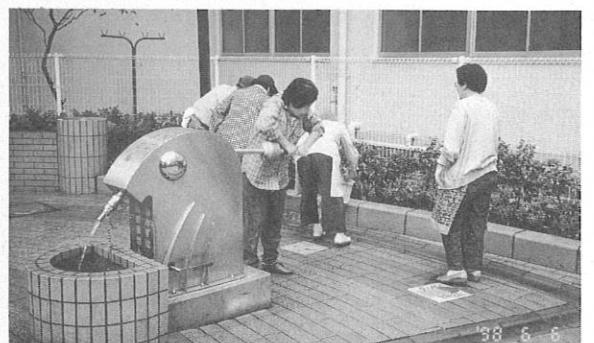
## 逃げないですむ まちづくりへ一歩

### 防災生活圏促進事業とは

南池袋二三丁目と雑司が谷三丁目（上の地図の範囲）で防災生活圏促進事業が始まろうとしています。この事業は防災的にひとまとまりになっている地区（防災生活圏）を対象にしています。地元の皆さんといっしょに、まちを安全にするにはどうしたらいいかを考え、少しづつ改良を加えながら安全なまちを作っていくという事業です。これまでの東京都の防災計画は、大地震に伴って起こる恐れがある火災から避難することを目標に行われてきました。この防災生活圏促進事業は、逃げなくてもいいまちをめざして行われます。

### 池袋本町の例

豊島区ではすでに平成9年から池袋本町地区でこの事業が行われています。池袋本町では地元の皆さんができる「池袋本町防災まちづくり



池袋本町：池二小井戸広場

の会」が中心となって計画づくりを行いました。そしてそれをもとに様々な整備が行われています。例えば、3つの小中学校には深さ50mの深井戸を掘り、その周りを井戸広場として地域のみなさんが誰でも使えるように計画し、すでに2ヶ所整備しています。浅井戸や貯水槽とは別の水源を確保して生活用水に利用できるようにするためです。また、消防水利の不足する地域がなくなるように、毎年、適当な場所を捜しては貯水槽を設置したり、民間の防災井戸を整備して使いやすくするなどの事業が行われています。毎年5月には防災まちづくり祭が行われ、たくさんの住民の皆さんのが参加のもと、楽しみながら防災について学んでいます。

### 南池袋二三丁目と雑司が谷三丁目では

区では昨年度、事業を行うための現況調査を行いました。その結果については次号のまちづくりニュースでお知らせいたします。

この調査結果をもとに、雑司が谷地区まちづくり協議会が中心となって計画づくりが行われます。この計画づくりは地区の将来を決める大切なものです。そこで協議会では来年の委員の改選時期に合わせて協議会委員を公募して、少しでも多くの地区的皆さんに参加していただき、いっしょに話し合いが出来るようにしたいと考えてあります。委員の公募については次号のまちづくりニュースをご覧ください。

# 緑のこみち整備 東京都と合意 住民の想いが実現

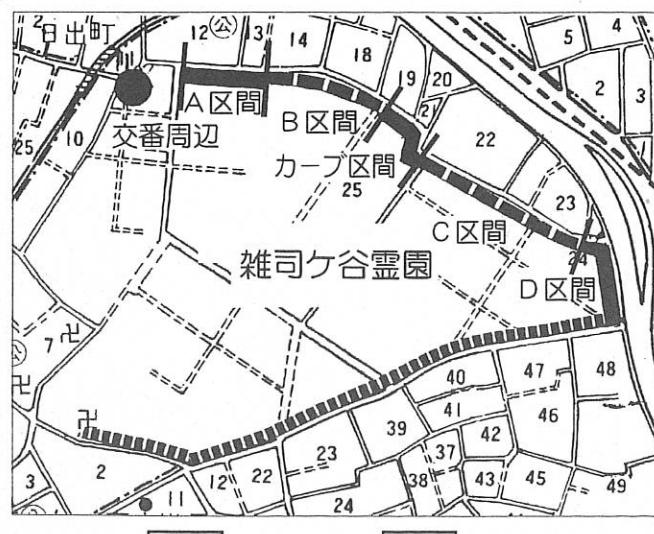
## インナーリンクの実現

まちづくり協議会では、雑司ヶ谷霊園の万年塚の撤去と生垣化を、昨年に引き続き東京都に要望し、また地元の皆さんと話し合いを進めてまいりました。今年度工事を行う第2期工事の部分は、墓地内に余裕がないため十分な工事ができなかった第1期工事部分とは違い、万年塚の内側に通路があるなど、いろいろな整備が可能な区間です。本来のインナーリンク（墓地内に歩道を整備して歩きやすく避難しやすい境界整備を行う）に近い整備が可能な所として早くから指摘されていた所です。

## 協議会における話し合い



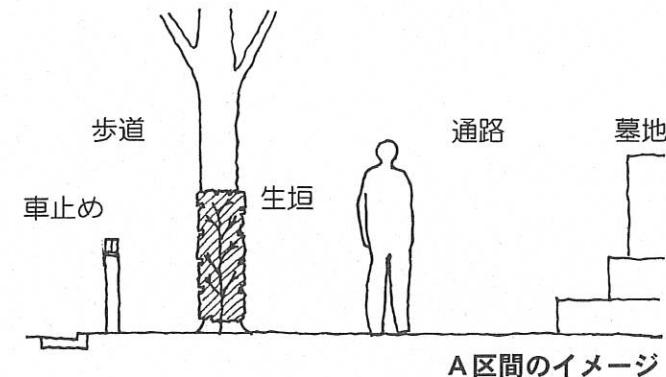
協議会では、まず会からの要望を東京都に提出し、都からの回答を協議会の場で話し合いました。協議会は拡大協議会として地元の皆さんにもご出席していました。一緒に考えるという形で行いました。その結果、住民の意見がまとまった段階で再度、都に要望を行いました。東京都では昨年の工事の結果がほとんどの住民の皆さんに喜んでいただいていることから、協議会の提案に対して前向きに対応していただくことができました。



## 整備の内容

協議会と都が合意した第2期工事の内容は、全体を5つの区間に分けて、次のようにになっています。

### ●A区間



A区間のイメージ

- ・万年塚が撤去され生垣になります。
- ・生垣の位置は墓地内の並木の所となり、道路側には歩道が整備されます。
- ・墓地の中の通路も土系の舗装にされて歩きやすくなります。
- ・新たに入口が設置されます。
- ・墓地に入る道にはすみきりが付けられます。
- ・今のゴミ置き場の所にはフェンスがつけられます。ゴミはフェンスの前に出していただくことによって、歩道にゴミが置かれて歩きづらくならないようになります。

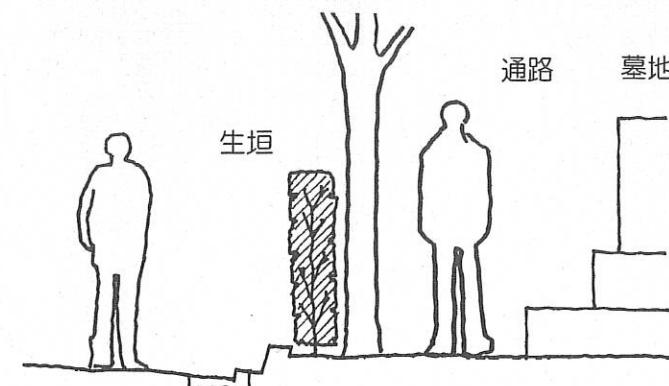
### ●B区間

- ・万年塚が撤去され生垣になります。ただし狭くて生垣にできない所では竹垣となります。
  - ・新たに入口が設置されます。
  - ・段差があって使いづらかった入口はスロープを設置して入りやすく改良されます。
- \*協議会がB区間に要望していたもう1ヶ所の入口は、墓地の内部が狭いため設置しないことになりました。

### ●カーブ区間

- ・カーブのため見通しが悪く、交通安全上改良が望まれているこの場所では、万年塚が撤去されて、見通しのいいメッシュフェンスになります。
- ・墓地の内部に余裕がある所では生垣になります。
- ・既存の2つの入口が利用しやすいように改修されます。

### ●C区間



C区間のイメージ

- ・万年塚が撤去されて生垣になります。
- ・墓地内の通路が歩きやすく整備されます。
- ・既存の3つの入口も利用しやすく改修されます。

### ●D区間

- ・高速道路の下で暗くなっているこの部分では、万年塚が撤去されて、明るくなるようにメッシュフェンスが設置されます。

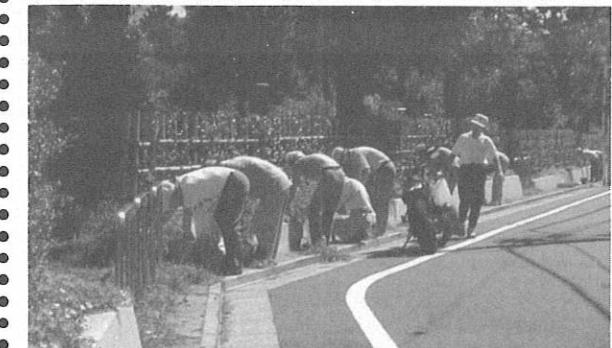
### ●交番周辺

- ・既存の入口が拡げられて、東通りから入りやすくなります。

## 12月着工・3月完成

第2期工事は、12月から行われます。着工前には東京都による工事説明会が予定されています。昨年と同じように3月のお彼岸前には完成する予定となっています。

## 緑のこみちの会・活動中



墓地の生垣を守り育てる「緑のこみちの会」の活動が本格化しています。これまでに生垣の前の隙間に草花を植え、雑草を取りゴミを拾つたりしてきました。7月には清掃が終わった後でソウメンを茹でて参加者全員で舌鼓。楽しい会となりました。

緑のこみちの会の今後の予定は次のとあります。いずれも午前10時からです。

- ・11月27日(土)
  - ・12月11日(土)
  - ・2月26日(土)
- 第2期工事が終了すると、墓地の周りは掃除をする所が増えます。緑のこみちの会ではお手伝いいただく方を募集しています。どなたでも参加できますのでお誘い合わせの上おいでください。
- 問い合わせ先 :

(財) 豊島区街づくり公社 北島・上野まで  
03-3981-1111 (内) 2883

## 防災まちづくり計画

## 区長提言

まちづくり協議会では昨年から雑司ヶ谷地区のまちづくりについて検討を行ってきました。

雑司ヶ谷地区ではいろいろなまちづくり事業が並行して行われようとしています。その時に、個々の事業がばらばらに計画されることがないように、防災まちづくりとして全体を一つに考えることが必要ではないかということで計画はまとめられました。

協議会では、平成11年6月11日に、着任間もない高野区長に防災まちづくり提言書を手渡して、特別の援助と配慮をお願いしました。区長からは「大変すばらしい計画を作っていただきありがたい。これから事業に活かせるように努力したい」とのお言葉を頂戴しました。

